

手稲稲積公園の魅力向上に向けた検討



【手稲稲積公園について】

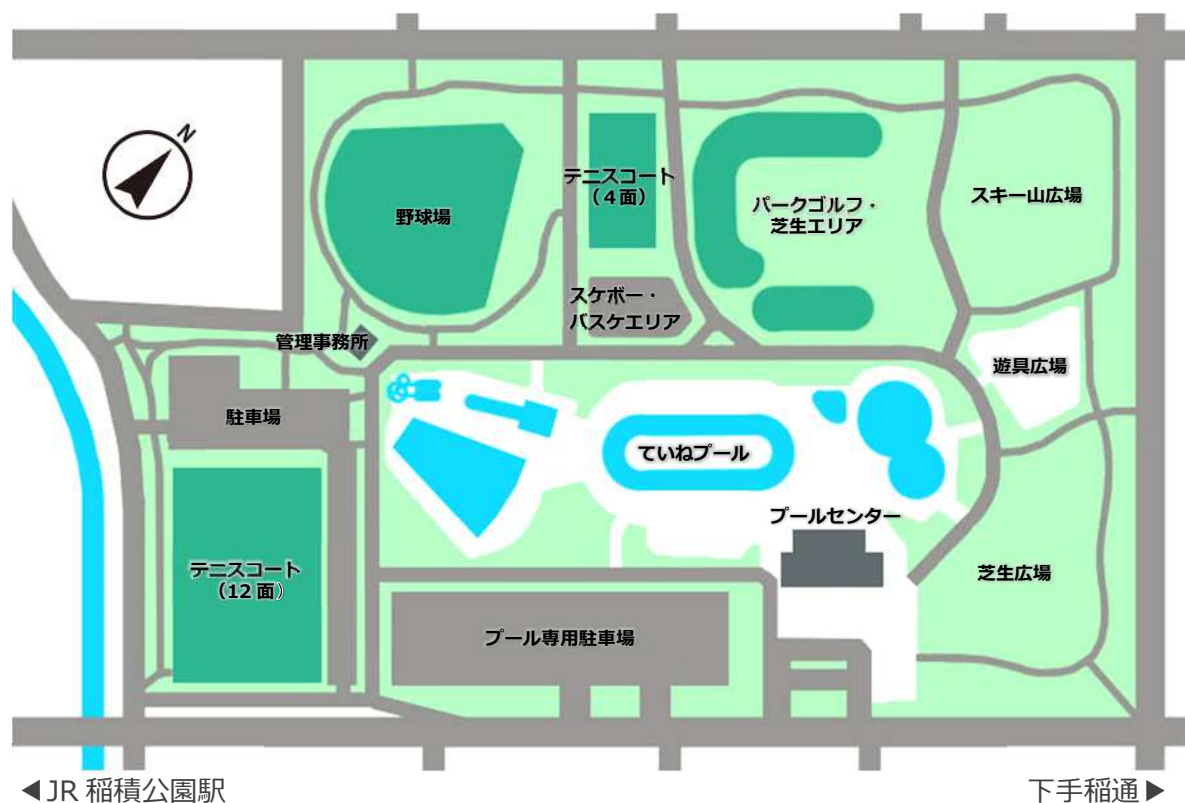
手稲稲積公園は昭和 56 年に開設された運動公園で、昭和 57 年の「ていねプール」オープン以降、部分的な施設改修を行ってきましたが、40 年以上が経過した現在、未改修施設の老朽化や軟弱地盤地ゆえの不同沈下の進行により、公園全体（未改修施設）の大規模な改修が必要になっています。

今後、札幌市では手稲稲積公園の将来を見据え、公園全体の魅力や利便性が向上するよう検討を進めてまいります。

【サウンディング調査について】

これまでの調査検討により得られた魅力向上に向けたアイデアの一例を示し、民間事業者のみなさまから手稲稲積公園で実現可能な施設機能のご提案やご意見をいただくことで、官民連携手法の導入の可能性を検討することを目的としてサウンディング型市場調査を実施します。

公園の概要



【施設内容】

- ・公園種別：運動公園（スポーツ施設を中心に整備する公園）
- ・住 所：札幌市手稲区前田 1 条 5 丁目
- ・面 積：181,503 m²（約 18 ヘクタール）
- ・主な施設：テニスコート（16 面）、野球場（1 面）、パークゴルフ場（9 ホール）、遊具広場（コンビネーション、ターザンロープほか）、管理事務所、駐車場（一般利用者向け 214 台）、スケボーエリア、バスケエリア、ていねプール（ビッグウェーブ、ウォータースライダー、キッズランドほか）
※今年は 7 月 12 日（土）～8 月 24 日（日）の営業

【公園の変遷】

- 1981（S56）年：手稲地区のスポーツの拠点となる運動公園として、段階的に整備・開放が始まる
- 1982（S57）年：手稲稲積公園内に「ていねプール」オープン
- 2000（H12）年：「ていねプール」をリニューアルオープン
- 2014（H26）年：遊具広場の改修
- 2016（H28）年：テニスコート（西側 4 面）の改修
- 2018（H30）年：テニスコート（南側 16 面→12 面）の改修
- 2019（R1）年：駐車場（南側）の増改修
- 2022（R4）年：スケボー広場（仮設）を整備・運用開始
- 2024（R6）年：スケボー・バスケエリアを常設再整備 R7 春オープン

下写真：開園して間もない手稲稲積公園（昭和 58 年頃）



公園内の施設について



有料施設

【野 球 場】

市内 20 箇所の公園にある有料野球場の中で 7 番目(土日・祝日)に使われており、比較的利用率が高いことが伺えます。

土日・祝日の利用率 (R3 年度) : 手稲稲積公園 57%
(市内 20 公園平均 : 50%)



有料施設

【テニスコート】

有料テニスコート 16 面の利用率は約 7 割(土日・祝日)で、同規模のモエレ沼公園 (15 面) よりも多くの利用者が訪れています。

土日・祝日の利用率 (R4 年度) : 手稲稲積公園 66%
(モエレ沼公園 : 50.4%)

【ていねプール】

流れるプールや波のプールなど、札幌を代表する屋外レジャープール。



有料施設

【遊具広場】

H26 年にリニューアル。カラフルなコンビネーション遊具、ターザンロープ、ブランコ、砂場などがあります。



【パークゴルフ場】

無料で利用できる 9 ホールのコース。パー33、コースの総延長は 427m あります。



【芝生広場】

親子でボール遊び、仲間とピクニック、座ったり寝転がったりと、自由に利用できるみどりの多目的空間。



【スケボーエリア】

オリンピックで公式競技となったスケートボードの練習場。R4 に仮設置、R6 には面積を拡張し、常設施設として整備。R7 春にオープンしました。



【バスケエリア】

スケートボードと同様に、人気の高いストリートスポーツ。こちらも R6 に再整備し、R7 春にオープンしました。



【スキー山広場】

冬期間は山の斜面を利用してスキー・ソリなども楽しめます。山の頂上からは、手稲山を眺められます。



【駐 車 場】

公園南部には、214 台があります。

※手稲プールの駐車場 500 台分(有料)は、夏期のプール利用期間のみ開放しています。



ていねプール について1

道内最大級のレジャープール！

ウォータースライダー (長さ 101mと 51m)



ウォーターフォール (高さ 8.3mと 6.6m)



流れるプール (ウォーターストリーム)



波のプール (ビッグウェーブ)



**老朽化のため、
令和3年以降使用中止**

ウォーターマウンテン



ホワイトマウンテン



キッズランド

幼児プール

ていねプール について2

ていねプール 40 年史

【概要】

「ていねプール」は、北国の短い夏に家族そろって水遊びを存分に楽しめる施設として、1982（S57）年にオープンしました。駐車場を含め面積 60,000 m²の道内最大級の屋外レジャープールで、今年でオープンから 43 年を迎えます。

1982（S57）年：手稲稲積公園の核となる大型の屋外レジャープールとして整備される。

オープン時はその規模や、様々な水遊びが楽しめる話題になり、シーズン中の利用者数はファミリー層を中心に 33.6 万人が訪れた。【当初整備費用：24 億円】

1998（H10）年：オープンから 16 年が経ち、施設の老朽化やレジャーニーズの多様化等により、利用者数は 4 万人まで減少。

1999（H11）年：プールのリニューアル工事のため 1 年間閉鎖。【リニューアル費用：10 億円】

2000（H12）年：リニューアル後、新たな水遊び施設も加わり、利用者数は 15.7 万人まで回復。

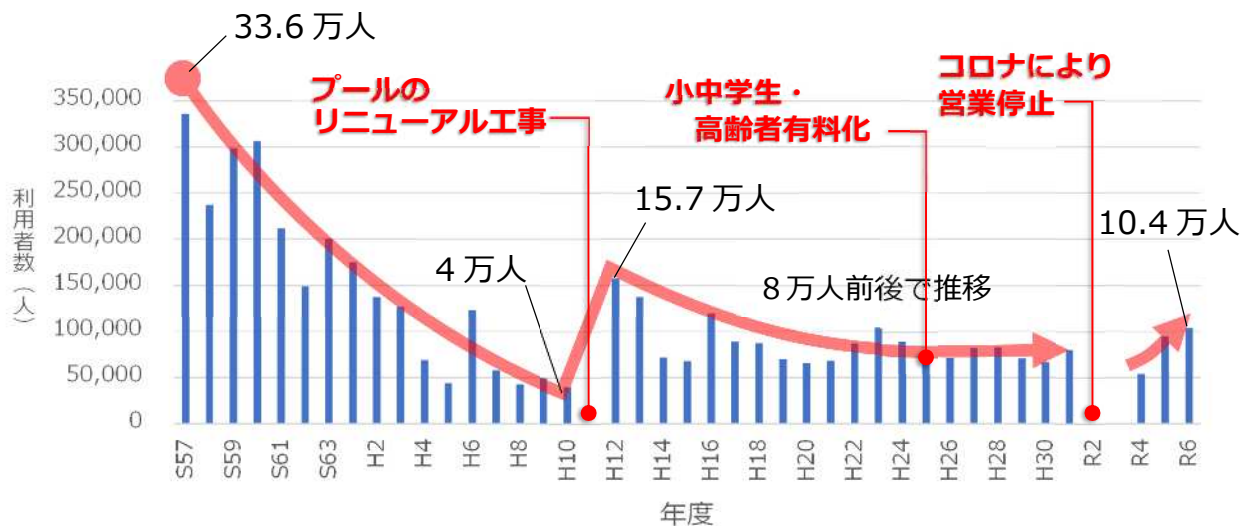
2010（H22）年：維持管理のコストに対し、夏の 40 日間しか利用できない「ていねプール」は、市民評価（事業仕分け）により不要（廃止）と評価されたが、存続を求める市民からの陳情や議会での議論を踏まえ、利用料金の見直しを前提に当面存続することとなる。この頃より、年間利用者数は 8 万人前後で推移。

2020（R2）年：新型コロナウイルス感染症の流行により 2021（R3）年まで営業を停止。

2022（R4）年：入場制限等の対策を講じ、営業を再開。来場者は 5.4 万人。

2024（R6）年：来場者は 10.4 万人。夏の暑さや小中学校の夏休み期間延長の影響で利用者数は増加傾向。

【利用者数の推移】



公園が抱える課題について

【維持管理費や修繕費の増加】

近年の人件費や光熱水費の上昇に伴い、公園の管理にかかる費用や、ていねプールの運営費用が増加しています。ていねプールは利用者数が増加傾向にあるものの運営収支は厳しい状況です。

また、老朽化の進行により、毎年安全にオープンするためにかかる修繕費用も大きなものとなっております。

【冬期間の活用】

ていねプールの運営は7月中旬から8月下旬に限られ、期間外の活用が課題となっています。

また、テニスコートや野球場が閉鎖する冬期間は、公園自体の利用が少ない状況です。

【ていねプールと公園施設の連携】

現在ていねプールの利用者を、プールの利用前後に公園側の施設に促すような運用をできていません。

プールと他の施設との連携に課題がある状況です。

臨時駐車場として
利用される芝生広場

撮影：2023（令和5）年



【維持管理・修繕の例】

毎年行うプールの
修繕と清掃

撮影：2023（令和5）年



破損した舗装の
修繕

撮影：2022（令和4）年



ウォータースラ
イダーの修復

撮影：2022（令和4）年



魅力向上に向けた検討状況について1

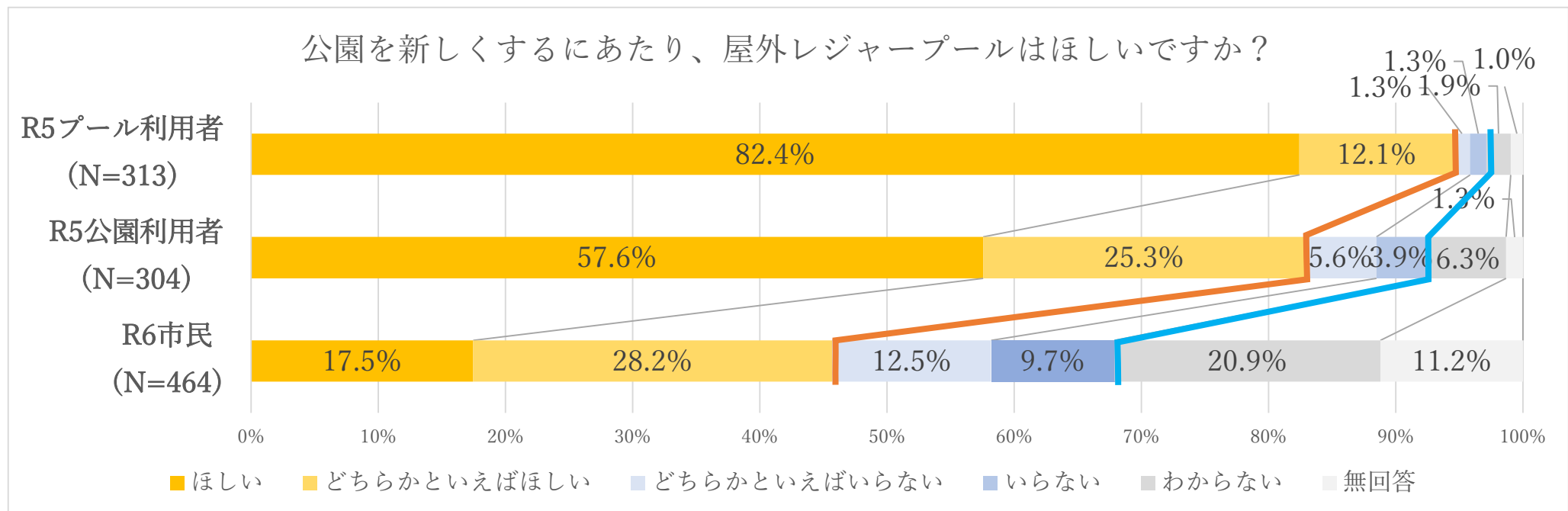
市民アンケート調査から

【市民に愛される「ていねプール」】

令和5年度にていねプールの利用者及びていねプールを除く公園の利用者に対し、現地アンケート調査を行いました。また、令和6年度には無作為に抽出した市民1,500人に、郵送によるアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の結果「公園を新しくするにあたり、屋外レジャープールはほしいですか？」との問いに対し、「ほしい」「どちらかといえばほしい」と回答した割合は、プール利用者で94.5%、公園利用者で82.9%と非常に高いものとなりました。一方、全市民では「ほしい」「どちらかといえばほしい」と回答した割合は45.7%、「いらない」「どちらかといえばいらない」と回答した割合は22.2%となりました。

以上の結果から、ていねプール利用者や近隣の市民のみならず、多くの市民が屋外レジャープールを望んでいるという結果が得られました。



魅力向上に向けた検討状況について 2

他都市調査から

【他都市事例：原山公園（堺市）】

大阪府堺市の原山公園ではPFI（BTO）手法により、屋外レジャープールを建設し、令和4年度にオープンしました。原山公園ではプールの管理棟に屋内プールと温浴施設付きのフィットネスジムを併設しています。このことにより通年利用される施設となっている他、収益性の向上にもつながっています。

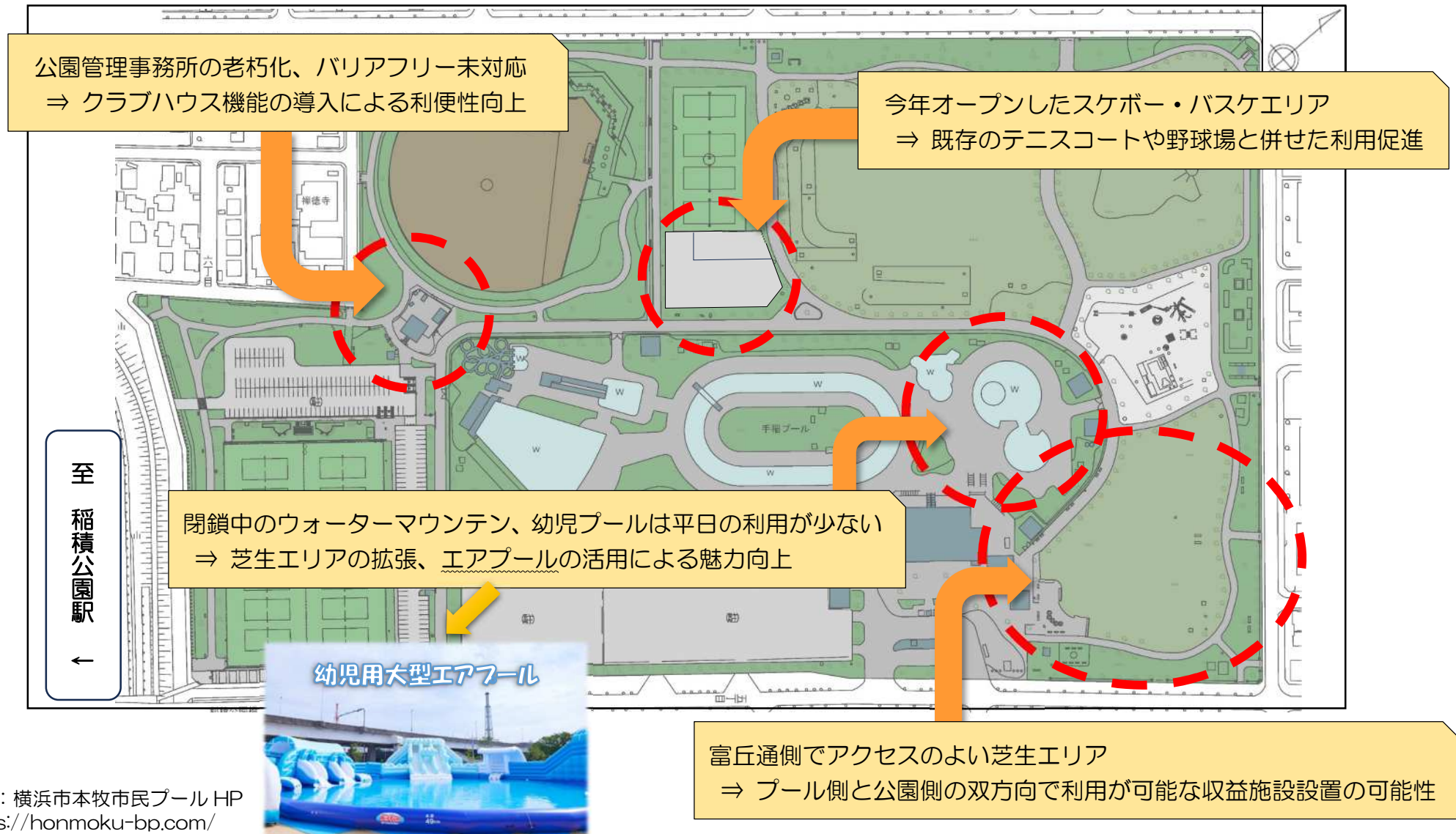


出典：マルエス堺原山公園プールHP
<https://harayama-pool.jp/pool/>

魅力向上に向けた検討状況について 3

これまでの調査に基づくアイデア

これまでの調査から得られた魅力向上に向けたアイデアの一例を下図に示します。



今後の検討の方向性について

背景

- ・公園開設から 40 年以上が過ぎ、老朽化が進む
- ・人口の減少、少子高齢化の進行

課題

- ・老朽化による魅力の減少、新たな価値の不足
- ・維持管理費、修繕費の増加
- ・ていねプールのメインの利用者層である子育て世代の減少

検討の方向性

- 夏季以外も 1 年を通して利用者される公園
- 若者・子育て世代・シニアなど 多様なニーズに応えられる公園
- アーバンスポーツや収益施設といった 新たな機能価値の導入
- プールと公園施設の連携による相乗効果の発揮

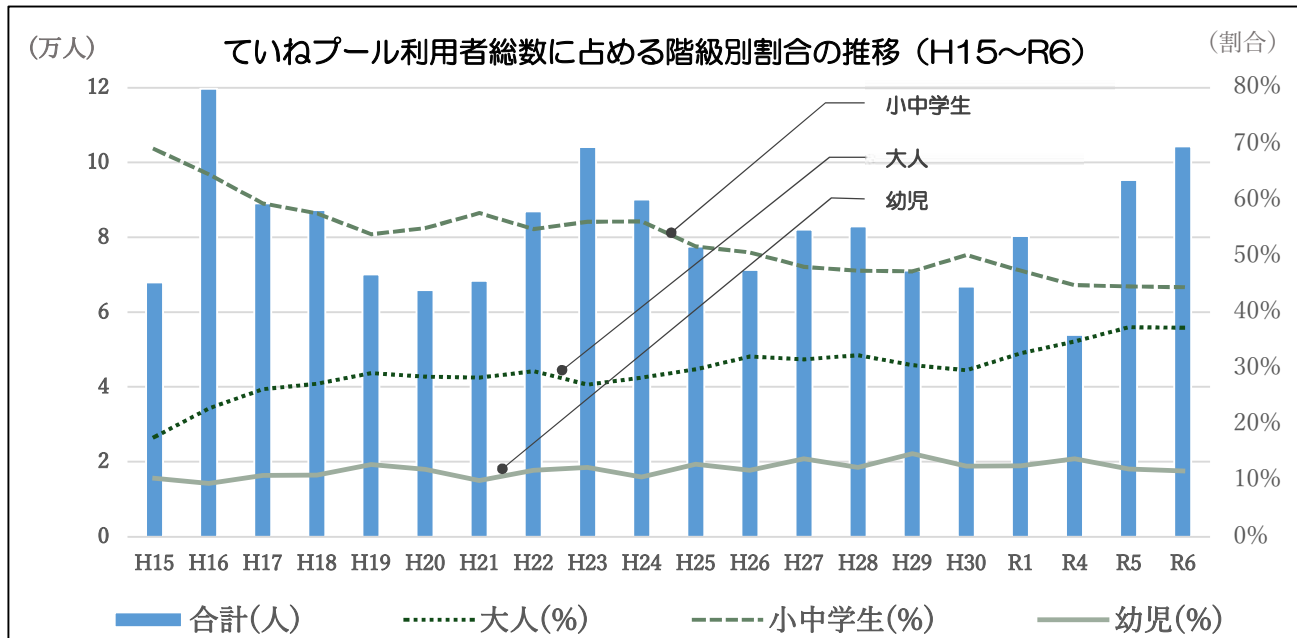
魅力向上の実現と財政負担軽減を両立するために、官民連携手法の活用を含めて検討を進めております。
手稲稲積公園の魅力向上に資する、民間事業者の皆様のアイデアのご提案やご意見を期待します。

補足事項 (1)

【ていねプールの利用状況】

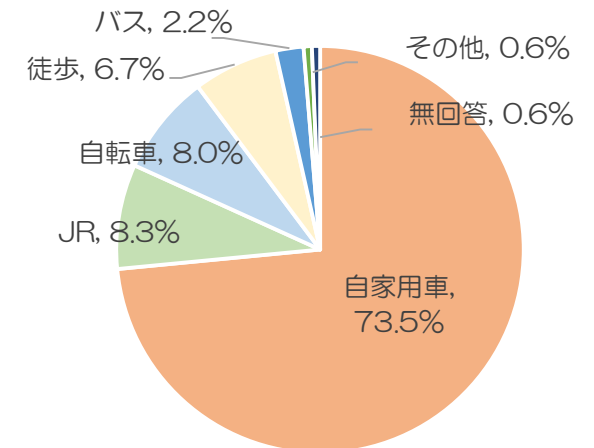
○平成 15 年以降のていねプール利用者の料金区分における階級別利用割合を見ると、メインの利用者層である小中学生は利用者総数に占める割合が減少傾向にあります。一方、大人の利用者総数に占める割合は増加傾向にあり、少子化や核家族化の進行が強く影響していると思われます。なお、幼児の利用者総数に占める割合はほぼ一定数となっています。

○交通手段について、ていねプール利用者に令和 5 年度アンケートをとったところ、大人の 7 割以上が自家用車と回答しました。子どもでは約 5 割が自家用車（家族等）、約 4 割が自転車と回答し、地域の自転車圏内からの利用も多いことがわかっています。

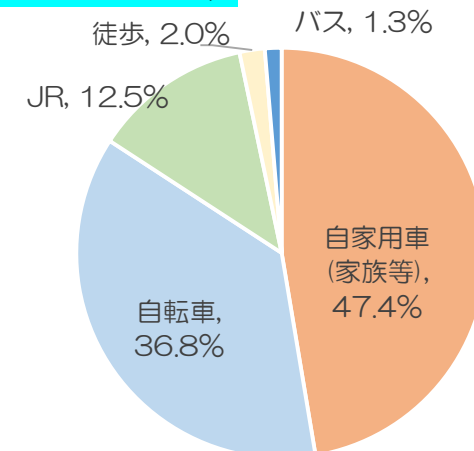


今日利用した主な交通手段はなんですか？
(R5ていねプール利用者アンケート)

(大人 N=313)



(子ども N=152)



補足事項 (2)

【手稲稲積公園の主要な施設について】

現況の公園設備	種別	供用期間	改修状況等	利用状況・特徴等
ていねプール	有料	<u>7月中旬～8月下旬</u>	1999 年改修	利用者数は年間約 8～10 万人で推移 一般 1,100 円 高校生 540 円 小中学生・高齢者 390 円 3 枚回数券や小中学生シーズン券（1,300 円）あり
プール管理棟		<u>7月中旬～8月下旬</u>	1982 年設置、 <u>未改修</u>	建築面積 1,559.89 ㎡、延床面積 2,381.2 ㎡
プール用駐車場		<u>7月中旬～8月下旬</u>	<u>未改修</u>	500 台 大型 1200 円 普通 700 円
野球場		<u>4月下旬～11月下旬</u>	<u>未改修</u>	2022 年利用率 土祝日：52% 全営業日：23% 1 時間あたり 1,300 円（R6 まで 1,200 円）
テニスコート		<u>4月下旬～11月下旬</u>	2016～2018 年改修	2022 年利用率 土祝日：66% 全営業日：38% 1 時間あたり 700 円（R6 まで 640 円）
バスケエリア	無料	<u>4月下旬～11月下旬</u>	2025 年再整備	スケボーエリアと併せて 2024 年工事、2025 年春オープン
スケボーエリア		<u>4月下旬～11月下旬</u>	2025 年常設化	2022 年仮設設置、2024 年工事、2025 年春オープン
パークゴルフ・芝生エリア		<u>4月下旬～11月下旬</u>	<u>未改修</u>	9 ホール、一部プールの臨時駐車場として使用
スキー山広場		通年利用	<u>未改修</u>	一部プールの臨時駐車場として使用
遊具広場		<u>4月中旬～11月中旬</u>	2015 年再整備	複合遊具・ターザンロープ・ブランコなど
芝生広場		通年利用	<u>未改修</u>	一部プールの臨時駐車場として使用
駐車場		<u>4月中旬～11月中旬</u>	2019 年増改修	214 台
公園管理事務所・休憩所		<u>4月中旬～11月中旬</u>	1989 年設置、 <u>未改修</u>	建築面積 92.43 ㎡、延床面積 162 ㎡
その他トイレ等		<u>4月中旬～11月中旬</u>	一部改修済み	北口トイレは通年で使用

補足事項（3）

【都市計画等】

- 手稲稲積公園内全域は現在、第一種低層住居専用地域に指定されています。
- 用途地域については見直しの実施も含めて検討を行っております。
- 現在改定中の立地適正化計画では周辺地域は「居住誘導区域」に指定される見込みです。

都市計画区域・区域区分		都市計画区域内・市街化区域
用途地域等	用地地域名称	第一種低層住居専用地域
	容積率/建蔽率	80%/40%
	建築物の高さ制限	10m
	特記事項	敷地面積の最低限度：165㎡ 容積率：60%* * 専用住宅、長屋、二戸の共同住宅以外 * 戸建住環境保全地区による
	特別用途地区	戸建住環境保全地区
高度地区		北側斜線高度地区

【周辺の環境（人口・交通）】

- 手稲稲積公園は平日上り 90 本以上が停車する JR 稲積公園駅から約 100m と近接しています。
- 公園外周の 4 面は歩道付き 2 車線の市道に面しており、南東側前面道路沿いには病院が立地しています。
- 周辺の土地利用は住居系であり商圈総人口は半径 500m 圏で 4,834 人です。

圏域人口 ※令和 2 年国勢調査	半径 500m 圏	4,834 人
	半径 1km 圏	23,387 人
	半径 5km 圏	296,030 人
	半径 10km 圏	960,614 人
	半径 20km 圏	1,974,999 人
稲積公園駅 1 日平均乗車人員（2023 年） ※札幌の都市交通データブック 2024		3,967 人
道道 452 号 昼間 12 時間総交通量 ※調査地点 手稲区新発寒 5 条 1 丁目 ※令和 3 年度一般交通量調査	上り	7,170 台
	下り	6,961 台
国道 5 号 昼間 12 時間総交通量 ※調査地点 手稲区富丘 3 条 7 丁目 ※令和 3 年度一般交通量調査	上り	11,952 台
	下り	11,689 台

関連資料

詳細については以下のリンクをご覧ください。

手稲稲積公園の札幌市ホームページ (公園検索システム)	https://www2.wagmap.jp/sapporo_koen/detail?fid=200002-1	公園の基本情報
手稲稲積公園ホームページ (〔公財〕札幌市公園緑化協会)	https://www.sapporo-park.or.jp/inazumi/	指定管理者作成のホームページ
ていねプールホームページ (株札幌リゾート開発公社)	https://www.teine-pool.jp/	指定管理者作成のホームページ
札幌市都市公園条例	https://www.city.sapporo.jp/ncms/reiki/d1w_reiki_nonframe/H332901010003/H332901010003_j.html	関係例規
札幌市都市公園条例施行規則	https://www.city.sapporo.jp/ncms/reiki/d1w_reiki_nonframe/H332902100033/H332902100033_j.html	関係例規
札幌市ていねプール管理規則	https://www.city.sapporo.jp/ncms/reiki/d1w_reiki_nonframe/H357902100050/H357902100050_j.html	関係例規
都市公園及び札幌市豊平川さけ科学館 に係る指定管理者の運営情報について	https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/shiteizyoho/index.html	手稲稲積公園を含む指定管理公園 の直近 5 年間の管理運営情報等
札幌市みどりの基本計画	https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/keikaku/23kihonkeikaku/	緑地の保全や緑化の推進に関して 定める総合的な計画